

## 『理論と動態』執筆要項

特定非営利活動法人 社会理論・動態研究所

原稿は、この最新版（2019年12月より施行）の執筆要項に厳密に則って投稿するものとする。

### 1. 原稿の分量は、以下の通りとする。

- (1) 「論文」は、（スペースを含めて）22,000字以内とする（タイトル・図表・注・文献リストを含む）。
- 「研究ノート」は、（スペースを含めて）22,000字以内とする（タイトル・図表・注・文献リストを含む）。
- 「巻頭の言葉」は、（スペースを含めて）6,000字以内とする（タイトルを含む）。
- 「書評論文」は、（スペースを含めて）10,000字以内とする（タイトル・図表・注・文献リストを含む）。
- 「書評」「書評プライ」は、（スペースを含めて）3,000字以内とする（タイトルを含む）。
- 「研究断想」は、（スペースを含めて）1,000字以内とする（タイトルを含む）。
- (2) すべての原稿は、図表などを含めた完全原稿であること。

### 2. 原稿の書式・表記は、以下のルールに従う。

- (1) 原稿は、日本語タイトル、日本語要約、本文、注、文献リスト、英語タイトル、英語要約の順序で構成する（図表は本文中の該当箇所に挿入すること）。
- (2) 原稿は横書きとする。
- (3) 文字のフォント、フォントサイズは、以下の通りとする。
  - 1) 本文 日本語は全角、明朝 10.5 ポイント 英語は半角、Century 10.5 ポイント
  - 2) アルファベット、数字 半角、Century、10.5 ポイント
  - 3) タイトル 全角の明朝 14 ポイント、太字、中央よせ
  - 4) サブタイトル 全角の明朝 12 ポイント、中央よせ、タイトルと——でつなぐ
  - 5) 節 全角のゴシック 12 ポイント、中央よせ、前後 1 行空ける 1 2 3
  - 6) 小見出し 全角のゴシック 10.5 ポイント、左端よせ 1.1 1.2 1.3  
1.1.1 1.1.2 1.1.3
  - 7) 注 全角のゴシック 10.5 ポイント 【注】 1) 2) 3)
  - 8) 文献リスト 全角のゴシック 10.5 ポイント 【文献】
  - 9) 欧文要約のタイトル 半角のゴシック 12 ポイント、中央よせ 【欧文要約】  
文 半角の Century 10.5 ポイント
- (4) 原稿に執筆者名を記載しない。執筆者情報及び謝辞などを記入しない。また、自分の論文や著書から引用する場合、引用箇所を伏字にする（例 [●●:引用頁] など）。文献リスト内の当

該文献も伏字にし、西暦発行年、雑誌名、著書名、出版社名などは記入しない。

- (5) 別紙として、投稿の種別（「論文」「研究ノート」「書評」など）、タイトル（日本語と英語）執筆者名（ふりがなを付ける）、所属、連絡先住所、E-mail Address、電話番号を書いたものを添付して提出する。
- (6) 本文などの書式・表記は、以下のルールに従う。
- 1) タイトルは、前置詞、接続詞、冠詞以外は大文字ではじめる。すべて大文字のものは、頭文字以外を小文字に変更する。
  - 2) アルファベット及び数字は、以下の通りとする。  
西暦表示は初出時は 1970 年代とし、同じ文章の中で以後は 70 年代と省略していい。基本的に西暦で記載すること。また 4 桁以上の数は、123,456 とコンマを付ける（この場合に限って、コンマ後の半角スペースは不要）。
  - 3) 日本語文章の句読点は「、」「。」とする。
  - 4) 本文中の接続詞、副詞、助動詞は原則として、形容詞は、可能な限りひらがなで表記する。  
「例えば」→「たとえば」。複数を示す「達」も「たち」。「にも拘わらず（「にも関わらず」は間違い）」は「にもかかわらず」など。
  - 5) 注は、本文中に該当語句の右肩に1) 2) 3)を付けて、注の説明を本文の後に続けてまとめて掲げる。Wordの「脚注機能」は使用してはならない。
  - 6) 図表は、版下として用いることのできるものに限る。
  - 7) 引用文献は、本文中に〔執筆者名（姓のみ）、半角スペース、西暦発行年：引用ページ〕のみを示し、タイトルなどを参考文献リストにおいて表示する。  
【例】〔野入 2008: 221〕、〔Said 1978=1986: 103〕
  - 8) 新聞記事の引用は、以下のように表記し、文末の〔文献〕リストには入れない。  
〔中国新聞, 2007.12.5〕〔 New York Times, September 7, 1990〕
  - 9) 本文中の人名の表記方法 日本語の人名は、初出時にフルネームで、それ以降は苗字のみで表記する（同じ苗字の異なる著者名を表記する場合は、それ以降もフルネームで表記する）。日本語以外の人名は、初出時にはカタカナでフルネームの音声表記し（フルネームの原語表記）、それ以降はそれぞれ Family name のみをカタカナで表記する。  
例 初出時は山本義男、ルイス・ワース (Louis Wirth)、イ・ヨンスク (이연숙) とする。  
それ以降は山本、ワース、イと省略する。
  - 10) 日本語をローマ字表記する場合は、長母音は Āā Ēē Īī Ōō Ūū を用い、イタリックで統一する（たとえば *Buraku Kaihōdōmei*）。
- (7) 文献リストについて
- #引用文献のみを記載し、参考にしただけの文献は記載しない。
  - #文献リストの順番の優先順位は
    1. アルファベット順
    2. 単著→単独編著→共著→共編書
    3. 出版年 それでも同じ場合は、出版年に a b c を付けて区別する。

#文献リストの必要事項については、以下の順序で表示する。

1. 著者名 外国人の場合も、筆頭著者は姓を最初にする。
2. 西暦発行年 同一著者が同一年に発表した複数の文献は、発行年の後にa, b, c を付けて区別する。
3. タイトル 日本語の場合、単行本は『』、論文は「」で括る。欧文の場合、単行本はイタリック体で表示し、論文は“ ”で括る。
4. 掲載雑誌名 和雑誌は『』で括り、洋雑誌はイタリック体で表示する。
5. 出版社名 海外の出版社については所在地を表記する。
6. 掲載ページ 論文の場合のみ。
7. 複数の著者の文献注は半角のセミコロンで、同一著者の複数の著書の文献注は半角のコンマでつなぐ。たとえば [山田編 2008: 23-6; 内田 2006, 2008: 56-90]

#以下に表記の例を掲げる。

青木秀男 2000, 『現代日本の都市下層——寄せ場と野宿者と外国人労働者』明石書店。

野入直美 2008, 「在日コリアンの子どもたち——生活史調査に見る仲間形成」谷富夫編著『ライフヒストリーを学ぶ人のために』世界思想社 220-245頁。

Said, Edward W., 1978, *Orientalism*, New York: Borchardt Inc. (=1986, 板垣雄三・杉田英明・今沢紀子訳『オリエンタリズム』平凡社)。

Overschall, Antony, 1978, “Theories of Social Conflict,” *Annual Review Of Sociology*, Annual Reviews, vol.4, pp.291-315.

3. その他の書式、表記については、『社会学評論スタイルガイド』に準拠する。

<https://jss-sociology.org/bulletin/guide/>

4. 査読が終了した後の完成原稿は、著者名や伏字にした部分を記入し、印刷原稿を添えて電子ファイル（原則としてWordまたはテキストファイル形式）で編集委員会へ提出する。
5. 文章表現やデータの扱い方において、他人の個人情報や人権などについての研究の倫理（日本社会学会の倫理規定に準拠する）に十分に留意するものとする。
6. 原稿の投稿・修正などに関する編集委員会とのやりとりは、すべて以下のメールアドレスにより行うものとする。editor@istdjapan.org 理論と動態編集委員会宛て。
7. 本要項は2010年10月より施行する。  
本要項は2013年1月より施行する。  
本要項は2013年7月より施行する。  
本要項は2015年11月より施行する。

本要項は2019年12月より施行する。